

はじめに

本校では、4月17日(木)に行われた全国学力・学習状況調査に、137名が参加した。今年度の調査では、国語、数学、理科の3教科と学習意欲、学習方法、学習環境、生活の諸側面等に関する質問紙調査を実施した。

この調査は、本校生徒の学力や学習状況を把握・分析し、各教科における課題や生活状況の実態などを明らかにすることにより、今後の指導内容や指導方法の改善、生活指導などに役立てることを目的としている。

本校でも各教科と質問紙調査の分析結果をまとめ、その概要を保護者の皆様に通知するとともに、本校ホームページにも掲載する。

なお、調査に参加した3学年生徒には個人票を配付したので、自分の結果を確認し、今後の学習に役立ててもらいたい。

1 本校の状況(全国との比較)

国語、数学の2教科とも平均正答率は、全国平均を大きく上回り、正答率の散らばり具合も全国と比較すると極めて小さい。

[参考] 国公立を含めた全国平均正答率および公立中学校の山梨県平均正答率

	国語	数学
全国平均正答率(%)	54.3	48.3
山梨県平均正答率(%)	53	45

※理科の平均正答率は公開されていません。

2 本校の主な成果と課題

国語

○設問全体を通して、本校の正答率は全国の正答率よりも高い。どの設問においても全国の正答率を上回っており、国語の基礎的な力が身につけていることがうかがえる。

○無解答率が低く、問題を解決しようとする意欲が高いことがうかがえる。全国で無解答率が一番高い「読み手の立場に立って、表記を確かめて、文章を整える」という問題においても、本校の無解答率は全国値の半分以下であり、「根拠を明確にして書く」という力が定着していることがわかる。

△全国的に正答率が低い設問については、本校でも同じように正答率が低くなっている。「思考力、判断力、表現力等」においては、全国と同様に「読むこと」の正答率が低く、内容の解釈や要約に課題が見られる。

△「話すこと・聞くこと」の領域において、資料や機器を用いて自分の考えをわかりやすく伝えるよう工夫する力を見取る問題の正答率が全国平均は上回っているものの、「表現を工夫する」という点で課題が見られる。

数学

○「基礎知識を問うA問題」「応用力を測るB問題」が統合された平成31年度以降、初めて全国(国公立)の平均正答率が50%を下回る中、本校の平均正答率は全国の平均正答率を大きく上回っていた。どの設問においても全国の正答率を上回っているが、特に「思考・判断・表現」の問題の正答率が高いことから、思考力や応用力が身につけていることがうかがえる。

○無解答率が低く、問題を解決しようとする意欲が高いことがうかがえる。

△「数と式」領域の問題は、全国の正答率も低いが本校もそれに応じて低い傾向にあることがわかる。

△記述式の問題の正答率は全国の平均正答率を大きく上回っているが、他の問題の正答率と比較すると低くなっている問題もある。

理科

○設問全体を通して正答率が高い。特に【考察】をより確かなものにするために必要な実験を選択し、予想される実験の結果を記述する問題の正答率が高く、無解答率も低い。これらのことから基礎的・基本的な知識が身に付いているといえる。

○身の回りの事象から生じた疑問や見いだした問題を解決するための課題を設定できるかどうかをみる問題は全国の正答率と比べて高い正答率であった。このことから、理科の学習モデルとして利用してきた探究のサイクルを意識した学習や批判的思考の育成など、本校の理科教育研究で取り組んでいる成果が現れていると考えられる。

△抵抗に関する知識を手掛かりに、身近な電気回路に抵抗がついている理由を選択する問題については、全国平均を下回った。これは、日常生活と授業の内容との結びつきが弱いことが考えられる。

△【予想】から学習した内容が反映されたAさんの【振り返り】を読み、Aさんの【予想】を判断し、選択する問題については、全国平均を下回った。

3 各教科における主な改善点

国語

*「話すこと」において、実生活や社会生活に生きる力として身に付けられるように話の構成の工夫や表現の工夫ができるように指導する。

*文章を解釈する際に、根拠や理由を意識できるようにする。そのために、自分やグループの意見を吟味したり、話し合ったりする活動を通して、自分の考えの根拠について考えられるような指導を行う。

*文章を要約する意図、目的を伝え、どの情報が必要か判断できるように指導する。

数学

*素数の定義や外角の定義をはじめ、基本的な内容についても正しく使えるよう、繰り返し丁寧に指導していく。

*論証指導をする際、「仮定と結論を明確にすること」「正しい表現を使うこと」「(表、式、グラフなどから)根拠を見いだして書くこと」などを大切に、一人ひとりの指導にあたっていく。

理科

*自然の事物・現象を、一領域の観点からだけでなく、領域を横断した総合的な見方や考え方ができるようにするために、多面的、総合的に思考する学習場面を設定する。

*生徒自身が探究のサイクルのどの位置について学習を進めているのかを把握する機会を増やしていく。これにより、見通しをもって学習を進めていく力が身につくと考える。

【基本的生活習慣等】

○朝食を毎日食べていますか

○毎日、同じくらいの時刻に起きていますか

→これらの質問について、肯定的な回答をした生徒は9割を超えている。

【挑戦心,達成感,規範意識,自己有用感,幸福感等】

○先生は、あなたのよいところを認めてくれていると思いますか

○人が困っているときは、進んで助けていますか

○いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思いますか

○人の役に立つ人間になりたいと思いますか

○学校に行くのは楽しいと思いますか

○普段の生活の中で、幸せな気持ちになることはどれくらいありますか

→これらの質問について、肯定的な回答をした生徒は9割を超えている。

○自分に、よいところがあると思いますか

○将来の夢や目標を持っていますか

○自分と違う意見について考えるのは楽しいと思いますか

→これらの質問について、肯定的な回答をした生徒は全国平均を上回っている。

△困り事や不安がある時に、先生や学校にいる大人にいつでも相談できますか

→この質問について、肯定的な回答をした生徒は全国平均を若干下回っている。

【学習習慣,学習環境等】

○分からないことや詳しく知りたいことがあったときに、自分で学び方を考え、工夫することができていますか

→これらの質問について、肯定的な回答をした生徒は9割を超えていて、全国平均を大きく上回っている。

○新聞を読んでいますか

○読書は好きですか

→この質問について、肯定的な回答をした生徒は全国平均を大きく上回っている。

・学校の授業時間以外に、普段(月曜日から金曜日)、1日当たりどれくらいの時間、勉強をしますか(学習塾で勉強している時間や家庭教師の先生に教わっている時間、インターネットを活用して学ぶ時間も含む)

・土曜日や日曜日など学校が休みの日に、1日当たりどれくらいの時間、勉強をしますか(学習塾で勉強している時間や家庭教師の先生に教わっている時間、インターネットを活用して学ぶ時間も含む)

→これらの質問について、「3時間以上」「2時間以上、3時間より少ない」と回答した生徒は全国平均を大きく上回っている。

・あなたの家には、およそどれくらいの本がありますか(一般の雑誌、新聞、教科書は除く)

→この質問について、「101~200冊」「201~500冊」「500冊以上」と回答した生徒は全国平均を大きく上回っている。

【地域や社会に関わる活動の状況等】

○地域や社会をよくするために何かしてみたいと思いますか

→この質問について、肯定的な回答をした生徒は全国平均を大きく上回っている。

【ICTを活用した学習状況】

○1,2年生のときに受けた授業で、PC・タブレットなどのICT機器を、どの程度使用しましたか

○1,2年生のときに受けた授業で、自分の考えを発表する機会では、自分の考えがうまく伝わるよう、資料や文章、話の組立てなどを工夫して発表していましたか

○1,2年生のときに受けた授業では、課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組んでいましたか

○1,2年生のときに受けた授業では、各教科などで学んだことを生かしながら、自分の考えをまとめる活動を行っていましたか

→これらの質問について、肯定的な回答をした生徒は9割を超えている。

○1,2年生のときの学習の中でPC・タブレットなどのICT機器を活用することについて、自分の考えや意見をわかりやすく伝えることができる

→この質問について、肯定的な回答をした生徒は全国平均を大きく上回っている。

【主体的・対話的で深い学びの視点からの授業改善に関する取組状況】

○1,2年生のときに受けた授業で、自分の考えを発表する機会では、自分の考えがうまく伝わるよう、資料や文章、話の組立てなどを工夫して発表していましたか

○1,2年生のときに受けた授業では、各教科などで学んだことを生かしながら、自分の考えをまとめる活動を行っていましたか

○学習した内容について、分かった点や、よく分からなかった点を見直し、次の学習につなげることができていますか

○学級の生徒との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、新たな考え方に気付いたりすることができていますか

○授業や学校生活では、友達や周りの人の考えを大切に、お互いに協力しながら課題の解決に取り組んでいますか

○先生は、授業やテストで間違えたところや、理解していないところについて、分かるまで教えてくれていると思いますか

→これらの質問について、肯定的な回答をした生徒は9割を超えていて、全国平均を大きく上回っている

○1,2年生のときに受けた授業で、自分の考えを発表する機会では、自分の考えがうまく伝わるよう、資料や文章、話の組み立てなどを工夫して発表していましたか

○学習した内容について、分かった点や、よく分からなかった点を見直し、次の学習につなげることができていますか

○授業で学んだことを、次の学習や実生活に結びつけて考えたり、生かしたりすることができると思いますか

→これらの質問について、肯定的な回答をした生徒は全国平均を大きく上回っている。

△1,2年生のときに受けた授業は、自分にあった教え方、教材、学習時間などになっていましたか

→この質問については、肯定的な回答が全国平均を上まわってはいるが、若干低い傾向がある。

【総合的な学習の時間、学級活動、特別の教科道徳】

○総合的な学習の時間では、自分で課題を立てて情報を集め整理して、調べたことを発表するなどの学習活動に取り組んでいますか

○あなたの学級では、学級生活をよりよくするために学級活動で話し合い、互いの意見のよさを生かして解決方法を決めていますか

○学級活動における学級での話し合いを生かして、今、自分が努力すべきことを決めて取り組んでいますか

○道徳の授業では、自分の考えを深めたり、学級やグループで話し合ったりする活動に取り組んでいますか

→これらの質問について、肯定的な回答をした生徒は9割を超えていて、全国平均を大きく上回っている。

【授業に関する興味・関心や授業の理解度等(国語・数学・理科・英語)】

○国語の授業の内容はよく分かりますか

○国語の授業で、文章を読み、その文章の構成や展開に、どのような効果があるのかについて、根拠を明確にして考えていますか

○国語の授業で、文章を書いた後に、読み手の立場に立って読み直し、語句の選び方や使い方、文や段落の長さ、語順などが適切かどうかを確かめて文章を整えていますか

○数学の問題の解き方が分からないときは、あきらめずにいろいろな方法を考えますか

○数学の授業で学習したことを、今後の学習で活用しようとしていますか

- 文字式を用いた説明や図形の証明を読んで、かかれていることを理解することができますか
 - 理科の授業では、観察や実験をよく行っていますか
 - 理科の授業では、自分の予想(仮説)をもとに観察や実験の計画を立てていますか
 - 理科の授業で、課題について観察や実験をして調べていく中で、自分や友達の学びが深まったか、あるいは、新たに調べたことが見つかったか、振り返っていますか
- これらの質問について、肯定的な回答をした生徒は9割を超えていて、全国平均を大きく上回っている。
- 国語・数学・理科の勉強は好きですか
 - 国語の授業で、話題や展開を捉えながら話し合い、互いの発言を結び付けて考えをまとめていますか
 - 数学の授業の内容はよく分かりますか
 - 数学の授業で、どのように考えたのかについて説明する活動をよく行っていますか
 - 数学の授業で学習したことは、将来、社会に出たときに役に立つと思いますか
 - 数学の問題が解けたとき、別の解き方を考えようとしていますか
 - 理科の授業の内容はよくわかりますか
 - 自然の中や日常生活、理科の授業において、理科に関する疑問を持ったり問題を見いだしたりすることがありますか
 - 理科の授業では、自分の予想をもとに観察や実験の計画を立てていますか
 - 理科の授業で学習したことは、将来、社会に出たときに役に立つと思いますか
 - 将来、理科や科学技術に関係する職業に就きたいと思いますか
 - 理科の授業では、自分の予想(仮説)をもとに観察や実験の計画を立てていますか
- これらの質問について、肯定的な回答をした生徒は全国平均を大きく上回っている。

5 質問紙調査結果から見た改善点

本校には「将来の夢や目標を持っている」生徒が多く、「人の役に立ちたい」と前向きに生活している様子が見られる。また、規範意識、自己有用感とも高く、仲間とともに切磋琢磨しながら、落ち着いた生活をしている。学習にも大変意欲的で、探求心を持ち、自身がわかるまで粘り強く課題に取り組んでいる様子が見られる。今後も、生徒会活動や特別活動をとらえて主体的に活動し、成功や失敗の経験を学校生活に活かすことができるような取り組みをいっそう充実させることで、自らの手で未来を切り拓くことができる力をより高めたい。

一方で、困り事や不安がある時に自分で解消しようとするあまり、教師や周囲の大人に相談できない生徒も見られる。課題や解決すべきことに追われてしまうことも一因である。信頼できる身近な大人や仲間に相談することを促し、日常のコミュニケーションを通して、生徒理解、さらに生徒の心の状態を把握するための手段(生活アンケートやライフノートなど)を複数用いて生徒理解に努めたい。

授業に関しては、大多数の生徒が肯定的な回答をしており、1人一台端末の活用や授業改善が進んだ結果であるとみられる。今後もさらに効果的で質の高い教育活動を進めたい。

【保護者の皆様へ】

分析の結果より、本校生徒が学校生活に対して前向きに意欲的に生活している様子が見られます。今回の結果を参考にし、教職員一同、生徒一人ひとりが成長できる学校づくりを目指し努力する決意です。今後とも、附属中教育へのご理解とご協力をお願いいたします。